

# 第 1 回研究分科会総評

CAUA 運営委員長（群馬大学）

金森吉成

3 つの研究分科会が並行して開催された。各分科会では 3 件の発表があり、合計 9 件の発表と討議が行なわれた。

1 件の発表に 30 分の時間が割り当てられて、1 件の発表後には 15 分の休憩時間が用意されていた。従って、発表後にも個人的に発表者と議論できる時間の配慮がされたスケジュールになっていた。

しかし、3 件の発表が同時に行なわれるため、興味有る話題が重なるときには、どれか 1 つの選択となる。

さらに、3 分科会に分かれるために 1 分科会における出席者が少なくなるという問題もある。

限られた時間内での発表ではあるが、次回の開催においては、スケジュールの構成に工夫が必要であろう。

私は、研究教育分科会に参加したが 3 件の発表とも興味深い内容であった。センター運用分科会、図書館分科会には出席出来なかったが、これらをメールマガジンでの報告や当日配布された資料を見ることである程度概要を推測できた。メールマガジンを活用することの意義をここで再確認した。

今回のような学会発表形式とは違う方法での研究会も考えられる。

例えば、各大学でのネットワーク運用でのセキュリティ対策をテーマにして、事例発表と議論をするなどである。このようなパネルディスカッション方式は、CAUA が目的とするユーザの相互意見交換により適合しているかも知れない。

---

第 1 回 C A U A 研究分科会

日時：2000 年 10 月 13 日（金）13：30～19：45

場所：東條会館（東京都・千代田区）